

土壌燻蒸剤
D-D
D-D剤

平成29年2月23日付けで以下の通り適用拡大されました。

<変更内容>

- 作物名「こまつな」「みずな」「チンゲンサイ」を「非結球あぶらな科葉菜類」に変更する。
- 作物名「豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげんを除く)」を追加する。

太字が追加部分、下線が変更部分です。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	D-Dを含む農薬の総使用回数
はくさい、レタス、非結球レタス、ほうれんそう、キャベツ、パセリ、みつば、	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15～20L/10a (1穴当り 1.5～2ml)	作付の10～15日前まで	1回	1) 全面処理 耕起整地後、縦横 30cm 間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ 15～20cm に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に 30cm 間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
きゅうり、すいか、いちご、トマト、ミニトマト、メロン、かぼちゃ、なす、ピーマン、とうがらし類、まくわうり						
だいこん、はつかだいこん、にんじん、かぶ、ごぼう、						
てんさい、こんにやく、さといも、らっかせい、しょうが、ねぎ、やまのいも、みょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、バジル、しそ、しそ(花穂)、うど、セルリー						
薬用にんじん、食用ぎく、オクラ、にがうり、もりあざみ、にら、らっきょう、みしまさいこ、さやいんげん、つるむらさき、 <u>非結球あぶなら科葉菜類</u>						
豆類 (未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげんを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15～20L/10a (1穴当り 1.5～2ml)	作付の10～15日前まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横 30cm 間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ 15～20cm に所定量の薬液を注入し直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。 全面処理 耕起整地後、縦横 30cm 間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ 15～20cm に所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。	1回
かんしょ	ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15～20L/10a (1穴当り 1.5～2ml)				
	ネコブセンチュウ	15～30L/10a (1穴当り 1.5～3ml)				
うり類(漬物用)	センチュウ類 コガネムシ類幼虫	15～20L/10a (1穴当り 1.5～2ml)				
だいず えだまめ	ダイズシストセンチュウ	20L/10a (1穴当り 2ml)				
	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15～20L/10a (1穴当り 1.5～2ml)				
ばれいしょ	ジャガイモシストセンチュウ	30～40L/10a (1穴当り 3～4ml)				
	青枯病 そうか病					
茶	ネコブセンチュウ	20L/10a (1穴当り 2ml)				
きく	ネグサレセンチュウ	15～40L/10a (1穴当り 1.5～4ml)				
	ネコブセンチュウ コガネムシ類幼虫	15～20L/10a (1穴当り 1.5～2ml)				
花き類・観葉植物 (きくを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫		植付の10～15日前まで	1) 全面処理 耕起整地後、縦横 30cm 間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ 15～20cm に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に 30cm 間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回	
樹木類	イシユクセンチュウ ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	作付の10～15日前まで				
すぎ・ひのき(は種床) すぎ・ひのき(床替床)	イシユクセンチュウ ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	20L/10a (1穴当り 2ml)	作付の30日前まで	1) 全面処理 耕起整地後、30cm×30cm 間隔で地表面から深さ 15cm に所定量の薬液を注入し、直ちに注入口をふさぎ、鎮圧する。 2) 畦内処理 植付前、畦立・畦面被覆後に、植付予定位置の深さ 15～20cm に所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。但し、ガス抜きは行わないこと。	1回	
たばこ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	4～6L/10a (1穴当り 1.3～2ml)	作付の30～45日前まで			

